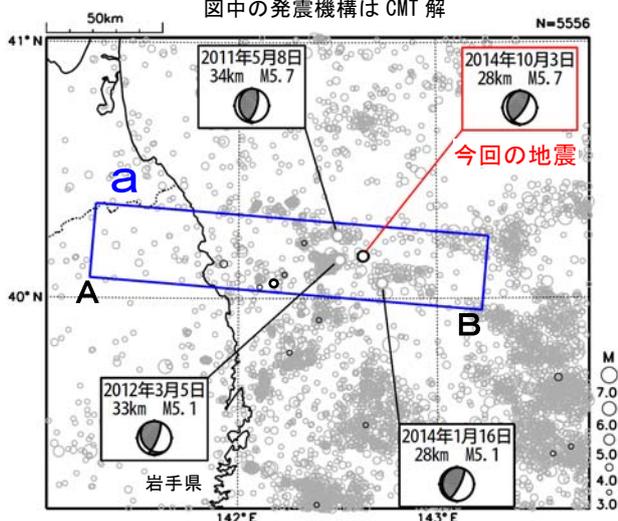


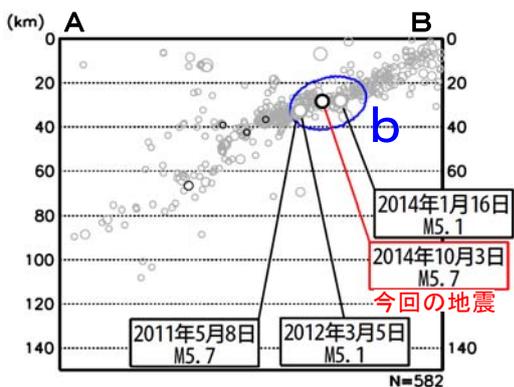
10月3日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2014年10月3日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2014年9月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

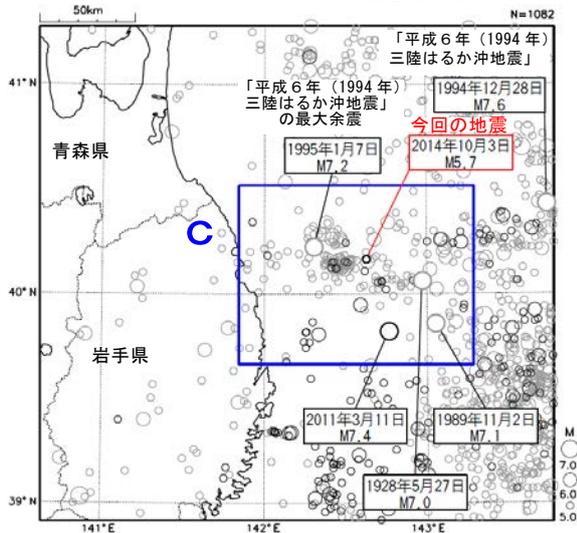


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2014年10月3日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

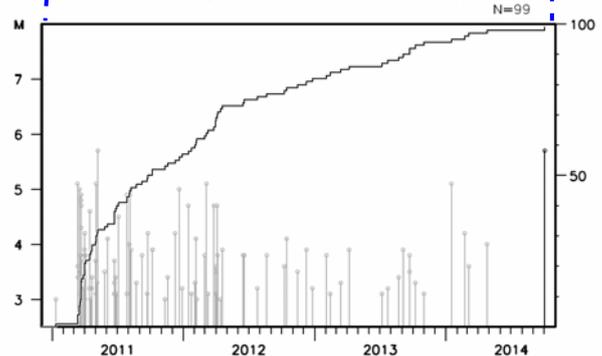
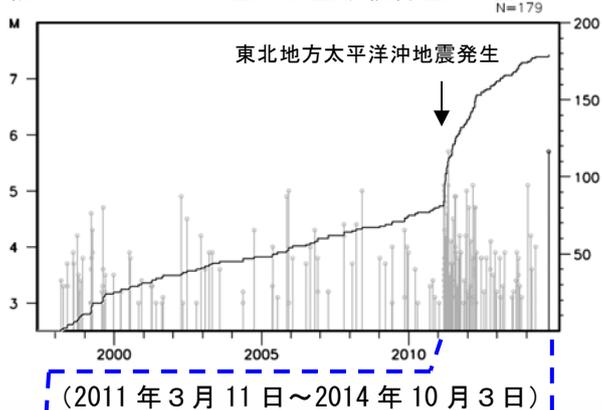


2014年10月3日09時57分に岩手県沖の深さ28kmでM5.7の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0程度の地震がしばしば発生している。この領域では「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化したが、その後次第に低下してきている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図 ($M \geq 3.0$)



領域c内のM-T図

